

海洋科学の未来とレジリエンスサイエンスシンポジウム2023を開催しました

7月21日（金）、香川大学幸町キャンパス OLIVE SQUARE 多目的ホールにおいて、「海洋科学の未来とレジリエンスサイエンスシンポジウム2023」を開催しました。（主催：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、協力：海洋研究開発機構、防災科学技術研究所、後援：一般財団法人 四国船舶職員養成協会）

シンポジウムの冒頭では、寛学長の開会挨拶の後に、香川県知事池田豊人氏より来賓の御挨拶を賜りました。

その後、「海洋科学セッション」、「レジリエンスセッション」、「パネル討論：10年後の瀬戸内、香川、四国の未来像」の全3部で、学内外の研究者、行政の方々に、理学、工学、防災、環境等の幅広い観点から研究成果を発表していただきました。

基調講演では、創造工学部長の末永慶寛教授より、「藻場造成と防災機能を兼ね備えた環境調和型構造物の開発」についてご講演いただきました。また、各セッションにおいて、座長と発表者間の活発な議論や、会場の参加者からも多数の質問が寄せられ、盛況のうちに閉会しました。



学長挨拶



知事挨拶



基調講演



パネル討論